

ひろひと  
加藤 恕仁さん  
(堀米町)

# キラリ★ 話題の「ひと」



○プロフィール  
茂呂山クラブ代表

## 地域コミュニティ拠点の一つとしての茂呂山をめざして

### 茂

呂山福祉センターを利用する方たちで構成される茂呂山クラブの代表を務める加藤さん。茂呂山クラブは、将棋・健康麻雀・論語塾・書道・カラオケ・卓球・パターゴルフの7つのクラブと、全体を統括する茂呂山クラブとで構成されています。クラブの総会員数は327人で、茂呂山クラブに代表がいるように、7つの各クラブにはそれぞれ部長・副部長がいます。加藤さんはその全体のまとめ役です。

全体を統括する茂呂山クラブの活動は、地域社会貢献のボランティア活動です。これまで、コロナ禍で新型コロナウイルスと戦う医療従事者の方々など約1200人に、現代的でモダンな柄物の手縫いのマスクを贈呈したほか、昨年6月には、コロナ禍で暗くなった地域に明るい話題を提供しようと、産まれた3頭の鹿の赤ちゃんの名前を募集しました。また晩秋には、市都市整備課などと連携して、茂呂山公園とその付帯施設の整美活動にクラブ員100人を動員しました。

加齢についての専門家の研究報告に、若さを保つための3つの段階があります。

【第1段階】 多少緊張する方と会話をさせる。

【第2段階】 サークル活動に参加させる。

【第3段階】 ボランティア活動に参加させる。

まさに加藤さんは、これらの条件を満たす活動を茂呂山クラブで実現しています。

とかく希薄な人間関係が原因となり、さまざまな事件や事故が発生してしまう昨今、市内では、市民の手で、市民のための、かけがえないコミュニティの一拠点が構築されようとしています。それが永き人生を重ねた高齢者の知恵に基づいていることに、なぜか安心感のようなものを感じます。

(市民記者 葛貫郁子)



▲茂呂山クラブの活動の様子

## 市長からの

### メッセージ

市民の皆さまには新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。昨年4月に市長に就任し、慌ただしい一年を過ごす中で緊張感を持って職務に専念してきました。昨年猛威を振るった新型コロナウイルス感染症対策では、有効な対策としてのワクチンの早期接種に対し、庁内にプロジェクトチームを組み、新たな接種会場の設置や医師などの確保に努めてきました。現在、全国的に落ち着いている状況ですが、新たな変異種の対応として医療従事者などへの3回目のワクチン接種を開始し、一般の方への接種の準備としてはコールセンターの予約電話の増設や接種会場を活用した予約窓口の設置など昨年以上に利便性を向上させていきます。

さて、新年度から実施となる、今後4年間のまちづくりの指針となる第2次総合計画中期基本計画が3月に策定されます。その中で「人とのつながり」を政策の柱として、新たなまちづくりの基本理念として「進化する佐野市」「選ばれる佐野市」へ向けた取り組みを進めるとともに、時代の潮流や気候変動などSDGsといった新たな政策にも対応し持続可能な社会環境も構築してまいります。その他、関連計画も策定に向けパブリックコメントなどを行っておりますので皆さまの幅広いご意見をお聞かせください。今年の成人式ですが、佐野会場を2部制にするなど感染症対策をしっかりと行った上で開催し、新成人の皆さまには私の座右の銘として大切にしている「知行合一」という言葉を贈ります。将来を担う立派な成人の第一歩を踏み出してもらいたいと思います。今年も寅年、私も年男となります。いちご一會とちぎ国体の開催や出流原PAへのスマートインターチェンジの開通など大きな事業が行われます。市民の皆さまの夢や希望が実現でき安心が享受できる将来に向かって、皆さまと協力し大きく飛躍する年にして行きたいと思っています。皆さまにとって今年が穏やかな年になることを祈念いたします。

金子 裕

今回の表紙 「正月用お飾りの製作」 令和3年12月13日撮影

佐野市シルバー人材センターにて、正月用お飾りの製作が行われました。この正月用お飾りは、会員の皆さんの手により、一つ一つ手作りで仕上げられています。





## 市役所でホットひと休み

**市** 役所の休憩スペースをご紹介します。エスカレーターを2階に上がりまっすぐ進むと、こども課の前に授乳室、その奥にラウンジとしてテーブルと椅子が置かれています。

また、7階には佐野市の南側を一望できる展望ロビーがあります。そこには自動販売機が設置されており、休憩することができます。

これに加え、市役所に2カ所ある吹き抜けテラス（3階南側、4階北側）は、これまで開放されておらず入ることができませんでした。昨年11月より市民も利用できるようになりました。テラスには、テーブルと椅子が置かれ、休憩することができます。両テラスとも屋外なため、冬は利用も難しいかと思いますが、今後市民からの意見なども取り入れて、楽しいスペースになっていくといいですね。

(市民記者 永倉文子)



▲ 3階テラスの様子

## 「唐沢山城」がNHK総合の「日本最強の城スペシャル」で紹介されます

**元** 日にNHK総合で放送される「日本最強の城スペシャル」で「唐沢山城」が取り上げられます。「唐沢山城」の難しい歴史を知らなくても、この番組を見れば、「唐沢山城」の魅力が分かります。

また、「唐沢山城」からの眺望などを、唐澤山神社禰宜の佐野由希子さんが、番組内で案内してくれます。

放送は、1月1日(土)午後9時からです。これを観れば皆さんも絶対「唐沢山城」に行きたくなりますよ。

(市民記者 中里聖子)



▲ 番組撮影の様子

ふくろうは夜行性なので、昼間は木のこずえでじっと眠っています。夜になると目と耳を生かして活動し始めます。野ねずみやうさぎや小鳥などを捕って、するどい爪で押さえつけ、くちばしでその獲物を引き裂いて食べます。鳴き声は、「ゴーへーゴーへーテレックテーコ」と鳴くといわれています。でも、遠くから聞こえてくる鳴き声は、ホッホッグルスクホッホと鳴くとか、ホーホーゴロスケホーホーと鳴くなどともいわれています。鳴き声は聞き方によってまちまちですが、どの鳴き声も頼りなく寂しそうに聞こえます。まして静かな夜は不気味な感じさえします。

ふくろうは、方言でゴヘードリ、ゴヘードリ、あるいはホッコドリ、ホーホードリなどともいいます。これらはいずれもふくろうの鳴き声がもとになっています。

「物音のしない静かな夜、遠くの方でゴヘードリが、ホッコー、ホッコーと鳴いてる声を聞くと、サムシ(寂しい)そうだねえ。ゴヘードリの鳴き声はウススキピワリー(何となく気味が悪い)って昔っからいわれてますよ」

ふくろうはフクロズクともいいます。フクロはふくろう、ズクはみみずくをいいます。ふくろうもみみずくも頭が大きくて顔が丸く、姿や形がよく似ています。その上、目つきもするどいので、フクロズクというようになっただけでしょう。

(市民記者 森下喜一)

佐野弁  
ばんざい

ふくろうの鳴き声「ゴーへー」は  
ふくろうの方言となった

